

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

映像から未来をつくる。映像をデータ化し、人々の意思決定を支援するクラウド録画型映像プラットフォームを提供。

ARR
14,523百万円

課金カメラ台数
35.4万台

直販NRR
109.9%

販売パートナーNRR
117.0%

② 中長期の経営戦略

1. 現場DXの推進

小売・飲食・サービス・建設・物流・製造・インフラ・公共・医療などの幅広い業界の現場DXを支援する高付加価値ソリューション展開。

3. AI開発プラットフォーム展開

2026年2月にSafie AI Studioの提供開始。業界特化型ソリューション開発スピードを飛躍的に向上。

2. AI搭載カメラの進化

2022年9月にSafie One、2024年3月にSafie GO PTZ AIを提供開始。導入後も機能アップデート可能な賢くなるカメラとして展開。

4. 販売パートナーとの協業強化

NTTグループ、Canonグループ、SECOMグループ等と連携。直販営業で培った販売ノウハウを共有し双方の強みを活用。

③ 対処すべき課題

① 労働人口減少への対応

- ・ 2040年働き手が現在の8割になる「8掛け社会」への対応
- ・ 建設業界で労働力22.0%、小売業販売職で24.8%不足の予測

② リアル空間へのAI活用拡大

- ・ 従来のWeb空間だけでなくリアル空間へのAI活用拡大に対応
- ・ 非構造化データである映像をAIで解析する仕組みの強化

③ オープンプラットフォーム構築

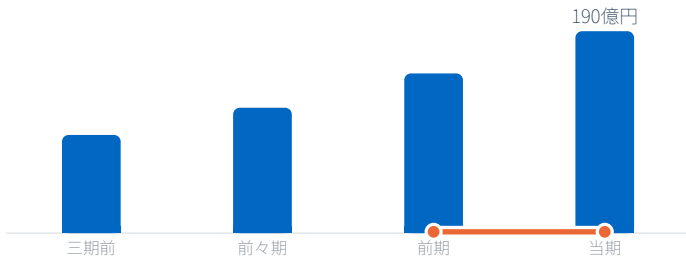
- ・ APIを通じた開発パートナーとのデータ連携推進
- ・ デバイスメーカー等との連携で多様な他社機器との統合を実現

面接で使えるポイント

- ・ 2025年12月末ARR14,523百万円、課金カメラ台数35.4万台という急成長を支えるリカーリング型ビジネスモデルの…
- ・ NTTグループ、Canonグループ、SECOMグループなど大手販売パートナーとの協業を通じた営業網構築への関心。
- ・ 建設業界で労働力22.0%不足する中、Safie AI Studioで業界特化型ソリューションを大量生産する社会課題解決…

証券コード 4375

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
クラウド録画型映像プラットフォーム「Safie」の開発・運営を主力事業とする情報

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
190億円営業利益率
▲0.4%財務健康度
51点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
767万円

情報・通信業内 126位/592社

平均年齢
35.4歳

情報・通信業内 447位/593社

平均勤続
2.9年

情報・通信業内 537位/593社

女性管理職
11.1%

情報・通信業内 242位/373社

男性育休
107.7%

情報・通信業内 16位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: セーフィー、シンガポール発の映像AI解析企業「Ailytic」

